

平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場取引所 大

上場会社名 協立電機株式会社

コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西 雅寛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長

(氏名) 中木 照雄

TEL 054-288-8888

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第2四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	14,181	8.3	528	88.6	664	98.7	389	167.6
24年6月期第2四半期	13,090	24.7	280	288.4	334	197.2	145	137.7

(注) 包括利益 25年6月期第2四半期 568百万円 (938.8%) 24年6月期第2四半期 54百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第2四半期	98.46	—
24年6月期第2四半期	36.71	—

(注) 当社は平成24年7月1日付をもって、普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割しております。なお、1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	21,509		7,070			31.6
24年6月期	19,476		6,570			32.5

(参考) 自己資本 25年6月期第2四半期 6,801百万円 24年6月期 6,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	27.50	27.50
25年6月期	—	0.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	27.50	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成24年7月1日付をもって、普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割しております。

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	6.1	950	64.6	1,100	59.8	600	100.8	151.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年6月期2Q	4,369,200 株	24年6月期	4,369,200 株
25年6月期2Q	409,285 株	24年6月期	425,959 株
25年6月期2Q	3,952,425 株	24年6月期2Q	3,961,881 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は平成24年6月30日現在の株主に対し平成24年7月1日付をもって、普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割しております。平成24年6月期の期末発行済株式数、期末自己株式数及び平成24年6月期第2四半期の期中平均株式数(四半期累計)は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業的前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は長引く円高・デフレに加え米国、欧州、中国等の主要国経済がそれぞれ固有の問題を抱え海外経済が低迷していたこと、さらには日中領土問題に端を發した中国での日本製品販売低迷等により輸出が減速し、景気が弱い動きを示していましたが、2012年11月の衆議院解散を機に潮目が変わり、過度な円高の修正とこれを契機とした株価の上昇が始まり、後半はいわゆるアベノミクスに対する期待が高まる状態で推移しました。

当社グループとしましては、ますます加速している製造業生産拠点の海外移転に伴い発生する新規設備投資需要を、この10余年にて構築した中国・東南アジアを中心とした海外ネットワークをフルに活かして確実に当社グループのビジネスとして取り入れることに成功したのに加え、半導体基板検査装置等の自社製品の販売も好調に推移したため、業績を大きく拡大することができました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は141億81百万円(前年同四半期比8.3%の増)となり、損益面としましては、営業利益が5億28百万円(同88.6%の増)、経常利益が6億64百万円(同98.7%の増)、四半期純利益が3億89百万円(同167.6%の増)となりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次のとおりです。

<インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、海外向けを中心に新規設備投資需要が旺盛であったこと、大型新製品の発売が開始されたこと等から好調に推移しました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は59億86百万円(前年同四半期比22.5%の増)、営業利益は2億99百万円(同272.4%の増)となりました。

<IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく安定的な分野であります。当第2四半期連結累計期間においては円高等による国内生産の低迷等により輸送機関連製造業向けの制御機器等の落込みがありましたが、海外を中心としたメカトロニクス等の好調により、総じて順調に推移しました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は81億60百万円(前年同四半期比0.0%の減)、営業利益は3億74百万円(同20.0%の増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の合計額は215億9百万円で前連結会計年度末に比し20億32百万円の増加となりました。これは主として当第2四半期連結会計期間末の大口入金を債券投資に振り替えたことにより有価証券が12億99百万円増加したこと、新製品の売上増加を見込み原材料等のたな卸資産が2億95百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が144億38百万円で、前連結会計年度末に比し15億31百万円の増加となりました。これは主として短期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては純資産の合計額が70億70百万円で、前連結会計年度末に比し5億円の増加となりました。これは主として四半期純利益が3億89百万円であったため、配当金を差し引いても利益剰余金が2億98百万円増加したこと、株価の上昇により、その他有価証券評価差額金が1億45百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現下の世界主要国の経済情勢は、米国経済が財政問題の根本的解決を先送りしながらも足元の経済指標には改善傾向が読み取れ、また債務問題という不安要素を抱える欧州経済もECBのてこ入れ等を理由に問題解決には至らないまでも小康状態を保っております。また輸出の不振から景気が減速した中国経済にも回復の兆しがでてきており、今後は順調に拡大していくものと思われれます。

一方我が国経済は、日本経済の再生を掲げた安倍政権が大胆な金融緩和を日銀に求める一方、思い切った財政支出と成長戦略重点項目への資金の重点配分を目指し、これに呼応するように円高の修正と株高が進み、いわばデフレ脱却への地ならしが進んでいるように見受けられます。

斯様な環境下、当社グループは国内製造業の海外移転に対して海外の子会社ネットワークをフルに活かして新たに発生する新規需要を積極的に取り込んでまいりましたが、とりわけ、従来最も力を入れてきたタイを中心としたASEAN諸国は現在最も経済が好調で、当社グループとしては新たにインドネシアに進出し拠点網のさらなる充実を図ることにより、さらに一層の業績拡大が見込まれます。

さらに国内においてもスマートグリッド技術に当社グループが得意とするインテリジェントFA技術を融合させた省エネ・省電力を目指す新製品「グリッド・グリーン」や最新鋭の画像技術を駆使した半導体基板検査装置の新製品等が発売開始から好評を得ており、これらが今後大きく販売を拡大し、業績をさらに押し上げる見込みであります。

従って、第3四半期以降の業績もさらに一段の拡大が予想されることから、平成25年6月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年2月5日に公表した修正業績予想の数字になるものと予想しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	681,081	775,304
受取手形及び売掛金	9,479,683	9,566,747
有価証券	300,009	1,599,618
商品及び製品	317,112	381,885
仕掛品	367,182	498,487
原材料	559,739	659,553
その他	382,236	409,469
貸倒引当金	△105,132	△106,555
流動資産合計	11,981,913	13,784,511
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,261,131	4,279,131
その他(純額)	918,097	942,151
有形固定資産合計	5,179,229	5,221,282
無形固定資産		
	74,245	69,231
投資その他の資産		
投資有価証券	1,721,352	1,841,186
その他	606,341	675,991
貸倒引当金	△86,426	△83,161
投資その他の資産合計	2,241,266	2,434,016
固定資産合計	7,494,742	7,724,530
資産合計	19,476,655	21,509,042
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,083,501	7,113,496
短期借入金	3,900,000	5,600,000
1年内返済予定の長期借入金	25,397	25,981
未払法人税等	287,222	278,489
賞与引当金	105,772	90,864
役員賞与引当金	44,110	—
その他	702,159	603,991
流動負債合計	12,148,162	13,712,823
固定負債		
長期借入金	80,017	60,120
退職給付引当金	122,298	129,032
負ののれん	7,268	5,451
その他	548,777	530,966
固定負債合計	758,362	725,569
負債合計	12,906,525	14,438,393

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,830,491	1,830,491
利益剰余金	3,790,528	4,088,531
自己株式	△510,845	△490,844
株主資本合計	6,551,614	6,869,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△214,017	△68,507
その他の包括利益累計額合計	△214,017	△68,507
少数株主持分	232,532	269,537
純資産合計	6,570,129	7,070,648
負債純資産合計	19,476,655	21,509,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
売上高	13,090,815	14,181,279
売上原価	11,147,422	11,947,492
売上総利益	1,943,393	2,233,787
販売費及び一般管理費	1,663,094	1,705,069
営業利益	280,298	528,717
営業外収益		
受取利息	8,316	3,743
受取配当金	9,213	15,271
仕入割引	17,640	16,329
持分法による投資利益	5,241	8,238
負ののれん償却額	1,817	1,817
助成金収入	25,744	30,266
為替差益	—	50,826
雑収入	14,414	24,480
営業外収益合計	82,388	150,973
営業外費用		
支払利息	11,543	12,299
手形売却損	3,156	667
売上割引	1,704	1,771
為替差損	9,644	—
雑損失	2,038	—
営業外費用合計	28,088	14,738
経常利益	334,598	664,952
特別利益		
固定資産売却益	44	151
投資有価証券売却益	3,625	20,814
負ののれん発生益	1,292	—
債務免除益	11,000	—
特別利益合計	15,962	20,966
特別損失		
固定資産除却損	890	7,178
固定資産売却損	23	45
有価証券償還損	31,099	—
投資有価証券評価損	3,222	—
その他	—	14
特別損失合計	35,235	7,237
税金等調整前四半期純利益	315,324	678,681
法人税等	155,045	266,487
少数株主損益調整前四半期純利益	160,278	412,194
少数株主利益	14,851	23,026
四半期純利益	145,427	389,167

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	160,278	412,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105,540	155,909
持分法適用会社に対する持分相当額	△39	88
その他の包括利益合計	△105,579	155,997
四半期包括利益	54,699	568,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,498	534,677
少数株主に係る四半期包括利益	1,200	33,514

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	315,324	678,681
減価償却費	88,967	79,120
債務免除益	△11,000	—
負ののれん償却額	△1,817	△1,817
持分法による投資損益(△は益)	△5,241	△8,238
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19,746	△1,843
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,211	6,733
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,903	△14,908
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,000	△44,110
受取利息及び受取配当金	△17,530	△19,015
支払利息	11,543	12,299
負ののれん発生益	△1,292	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△20	△106
有形固定資産除却損	890	7,178
有価証券償還損益(△は益)	31,099	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,625	△20,814
投資有価証券評価損益(△は益)	3,222	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,635,521	△87,063
たな卸資産の増減額(△は増加)	△85,224	△295,892
仕入債務の増減額(△は減少)	1,339,412	29,995
その他	15,675	△231,742
小計	△958,082	88,456
利息及び配当金の受取額	17,530	17,417
利息の支払額	△11,543	△12,299
法人税等の支払額	△37,559	△270,049
法人税等の還付額	2,402	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△987,252	△176,474
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△79,430	△79,505
有形固定資産の売却による収入	131	181
無形固定資産の取得による支出	△14,959	△12,317
有価証券の取得による支出	△546,078	△199,548
有価証券の償還による収入	247,642	199,548
定期預金の預入による支出	△20,001	△19,000
定期預金の払戻による収入	44,002	23,000
投資有価証券の取得による支出	△191,088	△236,591
投資有価証券の売却による収入	77,214	343,701
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	34,314	—
貸付けによる支出	△201,700	△282,360
貸付金の回収による収入	176,227	178,279
投資活動によるキャッシュ・フロー	△473,724	△84,612

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,600,000	1,700,000
長期借入金の返済による支出	—	△19,314
長期未払金の返済による支出	—	△6,208
自己株式の取得による支出	△10,404	△147
自己株式の売却による収入	—	19,348
配当金の支払額	△82,326	△89,989
少数株主への配当金の支払額	—	△4,975
少数株主からの払込みによる収入	—	2,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,507,268	1,601,514
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,297	57,404
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	40,993	1,397,832
現金及び現金同等物の期首残高	627,651	965,590
現金及び現金同等物の四半期末残高	668,644	2,363,422

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,887,119	8,160,901	13,048,021	42,794	13,090,815
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,330	40,536	67,867	29,633	97,501
計	4,914,450	8,201,438	13,115,889	72,427	13,188,316
セグメント利益	80,432	312,334	392,766	47,185	439,952

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	392,766
「その他」の区分の利益	47,185
全社費用(注)	△159,654
四半期連結損益計算書の営業利益	280,298

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,986,639	8,160,873	14,147,513	33,766	14,181,279
セグメント間の内部売上高又は振替高	43,946	61,373	105,319	28,971	134,291
計	6,030,586	8,222,247	14,252,833	62,738	14,315,571
セグメント利益	299,540	374,680	674,221	41,892	716,114

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	674,221
「その他」の区分の利益	41,892
全社費用(注)	△187,397
四半期連結損益計算書の営業利益	528,717

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。